KAiGO PRiDE in Setagaya 写真展 於ふれあいカフェ

介護職が自らの言葉で仕事の魅力を発信する写真展(令和3年9月6日~10月6日)には 多くの方から、感動と介護職の方々への感謝の言葉が寄せられました。



寄せられた言葉

写真に添えられた介護職(15人)のメッセージ(抜粋)

- 「ありがとう」その言葉だけで、どの職業にも負けなくらい。 プライドを感じられる。
- 多くの人に知って欲しい、未来を照らす職業であると。
- ・その人の人生の一部になっている。これが介護の仕事の素晴ら
- 手をつなぐ。「あー、安心する」と言われた。ただそれだけの 言葉にグッとくる。

介護職への"感謝の言葉""感想"など、入れてください

- 添えられた言葉が素敵です。表情からお仕事に対するプライドが感じられます。
- 介護に携わる方々の気持ち、心の充実、人生観の変化などを読んだ とき、こんなに人に気づかせ、考えさせ、変える仕事なんだと思いました。 これからの仕事のひとつに考えたいと思いました。
- とても活き活きとした表情の笑顔いっぱいのお写真を拝見して勇気を頂きました。
- 「大変だけど必要」だけでなく、「大変だけどかっこいい」と言われる日が早く 来ますように。

せたがやシニアボランティア研修



コロナ禍の中、今年度は、感染防止の為、 5月(Zoom開催)、定員を減らして7月、9月に 開催し、今後は11月、2月に実施します。

コロナ禍でボランティア活動は中々できませんが、参加希望者が 多く、区民の方々の意欲を感じます。

Q:ボランティアの登録は1か所だけですか? A:複数か所、登録可能です。登録先の変更も可能です。 Q:研修後活動できず、1年が経過したらどうなりますか? A:一度研修を受けていれば大丈夫です。研修の修了証に 有効期限はありません。



編集後記

大好きな釣りを去年より自粛。すっかり自宅 にいることが増え、精神力・体力低下や体重 増加を感じ、釣りの代わりに東京都内をサイ クリング。場所や目的地は毎回、決めずに気 持ちの赴くままに、色々な場所や景色を楽し み、気分転換。徐々に自転車を長時間漕ぐこ とも慣れ、2時間かけ、千歳烏山から東京湾 や横浜等に行く等、今では移動で自転車に乗 ることが定着した。

発 行:世田谷区福祉人材育成・研修センター 〒156-0043世田谷区松原6-37-10 世田谷区立保健医療福祉総合プラザ1階

電話:03-6379-4280 FAX: 03-6379-4281

H P: https://www.setagaya-iinzai.ip/



世田谷区福祉人材育成・研修センター

じんざいくん優



コロナ禍で従来のように施設への訪問や交流ができない中、「小・中・高校生夏休み福祉体験」 「せたがや福祉のしごと入門講座、相談・面接会」「区内介護施設等紹介」をZoomで開催しました。 コロナ禍で生活様式が大きく変わる中、研修センターでは、ネットの活用が飛躍的に進みました。

参加者:125名 7日間 14回実施

緊急事態宣言が発令されZoomでの実施でしたが、「動画やクイズでとてもわかりやすく **◎夏休み福祉体験** 楽しく学べた。」「介護の素晴らしさ、相手への思いやりを感じることができた。」「福祉 の仕事のイメージが変わった。」等々、好評でした。「でも、実際に体験したい。」との 声もいただきました。来年は是非、実体験ができるようにコロナの終息を願ってます!!

新しい介護「特養ホームの取り組み」



介護技術や福祉用具、介護口 ボットなどの活用により介護負 担が軽減でき、介護される方も 安心して、より良い生活が送れ ることが良くわかりました。

加者の笑顔と家族の喜び

が見られて良かったです。

スポーツの力はすごい!!

クイズで体験!! 「車いす・介護ベッド」

「介護は相手への敬意、 思いやりが必要で、優し さがあふれる職業と実感 しました。」

「リハ・スポーツ」 出典:一般社団法人 輝水会







クイズで学ぶ 障害があってもスポーツ 「平等と公平の違い」 を通して、地域で仲間と 一緒に楽しむことで、参

平等・公平の 違いを しっかり考えて使い 分ける必要があるこ とを学びました。

◎せたがや福祉のしごと入門講座、 相談•面接会(年4回)

福祉の入門講座や、福祉職員が「本音で語る」 座談会を動画で紹介します。面接会は、事業者の 1分間PR動画を上映し、その場で疑問点が解消で きるように質問タイムを設けています。緊急事態 宣言下でも、感染の危険がなく安心して参加でき ます。

◎区内介護施設等紹介(年5回)

区内の特養やグループホーム、小規模多機能 居宅介護事業所等をZoomで繋ぎ、施設の紹介動 画をとおして、各施設を紹介します。

施設の特徴や雰囲気が分かり、担当者にZoom を介して質問ができます。





◎オンラインでのメリット

- 新型コロナウイルス感染の心配がない。
- ・現場の様子や職員の牛の声を聞くことができる。
- ・興味を持った事業所へ直接訪問するきっかけになる。・ネット環境のない方の参加支援。

■オンラインの課題

- 施設の空気感が伝わりにくい。
- 担当者との直接の面談、個別の質問への対応。

カメラマン 内田雅子「金澤翔子の世界」写真展

令和3年12月1日(水)~24日(金)保健医療福祉総合プラザ1階ふれあいカフェ

ダウン症の書家として知られ、住み慣れた地域で一人暮らしをしている金澤翔子さん とお母様を10年来、撮影している内田雅子さんの写真を通し、

「**金澤翔子さんの世界**」を知ることができます。**優しさあふれる**

写真から、感動、生きる力、元気がいただけます。 **★★★**来場者プレゼント**★★**★ 翔子さんの書「疫病退散」&「翔子アマビエ」(名刺サイズ)



研修ピックアップ [Web研修]

在宅医療を支える訪問看護研修【第2回】~在宅小児療養者を支える訪問看護 在宅小児療養者の発達支援・家族支援

視聴期間: 令和3年11月1日(月)10時~12月3日(金)17時

【Zoom対談】

●横田 益美氏 (せたがや訪問看護ステーション 家族支援専門看護師)

●諏訪 恵氏 (当事者家族)







地域包括ケアシステムの重要な役割を担う訪問看護の専門性を高めることを目的として、「在宅小児 療養者の発達支援・家族支援」について、家族支援専門看護師とご家族による対談を行いました。 サービスを利用するご家族の気持ちを理解するのに、福祉サービスを提供する私たちが気を付けてい くべき貴重なお話をいただきました。

横田氏:百亜君のお誕生から今日まで振返っての 思いをお聞かせください。

諏訪氏:出産後、子どもに中々、会えなくて、現 実が受け止められず、ネットを検索して は、不安になっていました。

横田氏:初めてお顔を見たときは?

諏訪氏: やっと会えた! 可愛い~!でも、沢山の 管につながれていたので、ごめんね…。 また、不安な気持ちになり、毎日、面会 して、声かけ、体をさすっていました。

横田氏:気管切開すると決めた時のお気持ちは? 諏訪氏:何が正解か今もわかりません。セカンド

オピニオンを受け決断まで半年かかりま したが、人工呼吸器を10時間まで外せる ようになり退院できたのは、成果だと思 います。

横田氏:お母様、お仕事は?

諏訪氏:フルタイムで企業で働いています。出産 時は3か月の産休でしたが、復職できず 退職しました。その後、体制を整え、保 育園入園と同時に、新たに就職しました。 私にとって仕事をしない選択肢はなかっ 3年かかりましたが、その間、デイや 外へもどんどん出かけていました。

横田氏:入園して百亜君はいかがですか?

諏訪氏: 先生や友達との関わりの中で、本人の 成長が見えます。私も親同士の情報交 換ができ、心強いです。

横田氏:訪問看護を利用していかがですか?

諏訪氏:はじめは遠慮して、何を聞いてよいか もわかりませんでした。薬や体の拘縮、 便秘など経験豊富な看護師にアドバイ スいただき、分からないことは調べて 教えて下さるので信頼できます。

横田氏:"思い"と違う…ことはありますか。 諏訪氏: その時は、本人はこの方が好きです、

こうしていただきたい…と伝えていま す。気持ちを伝えることは大事ですね。

横田氏:これからのご家族に伝えたいことは?

諏訪氏: 支えて下さる方はたくさんいるので、 不安は抱え込まず、きちんと伝えるこ とは大事です。訪問して下さる方々が、 本人だけでなく、きょうだいにも声を かけていただき、家族全体を支えてく れているのは心強いです。

【諏訪さんのメッセージ】

サービスを利用しながら、フルタイ ムで仕事をしています。毎日、時間に 追われていますが、多くの方の支えが あって、家族、皆、元気に暮らしてい

私たち家族のような生活があること を、知っていただければと思い、参加 させていただきました。

- ●家族構成:父(会社員)母(フル タイム勤務)姉(16歳)兄(14歳) 本人(5歳)の5人家族
- ●病状:出産時トラブル(蘇生後脳 症)で、人工呼吸器装着
- ●医療的ケア:人工呼吸器、胃瘻、 吸引、排泄管理、水分管理

対人援助技術研修【Zoom】

「多職種連携の極意~コミュニケーションカUPに向けて~」

立正大学 社会福祉学部 准教授 土屋 典子

開催日 令和3年9月2日(木) 14時~17時 @安心づくり安全探しアプローチ(AAA)研究会

多職種連携を行う上でのポイントとして、解決志向アプローチの活用とチームについての理解がと ても大切です。多職種連携を行う上で必要とされるコミュニケーション技法についても学びました。



解決志向の原則

うまくいっていたらもっとそれをする

うまくいかなかったら違うことをする

小さな一歩が大きな変化につながる

解決は必ずしも、直接的な問題に関連するとは限らない

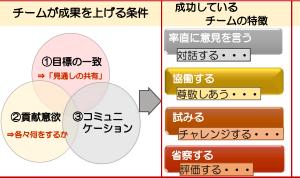
どんな問題も常に起こっているわけじゃない。 利用可能な例外がある

未来は創り出されるし、努力して変えることができる

解決志向アプローチ

今ある状況を丁寧に紐 解き理解する。本人、 周囲の人、組織メン バーの強み、その人た ちの力を生かす(スト レングス)。解決を少 しずつ構築する。

⇒当事者の視点重視



「信頼」をつくるための究極の技法 ~コンプリメント~

ほめる、称賛する、ねぎらう

大事!! 人は強みから成長 します。

成功体験は

- 尊敬の念を表明する。
- -相手のもつ強み、力に気づいてもらう。
- -事実に基づく言葉。おべんちゃらやへつらい ではない。
- -協働意識が生まれる。

O具体的な行為に対しておこないます。

自分自身にもたくさんのリソースがあるように、どんな人 もリソースをたくさんもっています。「その素敵なところ を見つけられるか」が勝負です。

ケアマネジャー研修 専門力向上【新任・現任】(Zoom) 「ケアマネジャーに求められるファシリテーション力」

開催日: 令和3年8月24日(火) 14時 ~17時 ルーテル学院大学 教授 福島 喜代子 氏

ケアマネジャーが求められる役割を遂行し、サービス担当者会議や事例検討において、多職種協働を推 進できるよう、ファシリテーションカの向上を目指します。



• 日程調整

• 資料準備

る体制

の整理

・方向性の

すり合わせ

・目的と議題

本人の判断、

意思決定な

どを支援す

- <ファシリテーションの基本> • 多職種、多機関の意見を引き出し、相互作用を促進します。
 - 対人援助のスキルの中で「グループへの支援」のスキルを用い、応用します。

【会議の過程…グループ支援の過程】

★限られた時間の中でどのプロセスにいるかを意識する。

2. 開始期 1. 準備期

- 自己紹介等
- ・場所の確保 →明るく、前向 きなあいさつ
 - ・終了時間の目途 を伝える
 - 目的の明確化
 - →言語化が大事
 - ・課題の確認
 - 質問をしやすい 問いかけ「何か 質問はあります か?」

3. 作業期

- 課題に焦点をあてた発言を引き出す →特に立場の弱い人、判断能力の不 十分な人へは、原則として直接、優 先的に話しかけ、ふる。
- ・曖昧な発言は、「明確化」「細分 化」を心がける(具体的にいうと? いつ、どのように?)
- ・解決方法の選択肢を複数出してもら うよう促す
- ・選択肢の長所と短所を整理し、みな で分かち合う→示した上で、原則と して本人の選択にゆだねる

4. 終結期

- ・課題の解決方法 言語化して共通認識 を持つ
- ・役割分担を確認 「誰が」「いつから」 「どのように」
- ご本人や家族の役割 も確認する
- 次回の目途を確認す る、大きな変化が起 きたときなど、再度 会合を持つことなど を確認する。



(施設)

调5日

